

男女共同参画のお悩みに 専門家がお答えします！

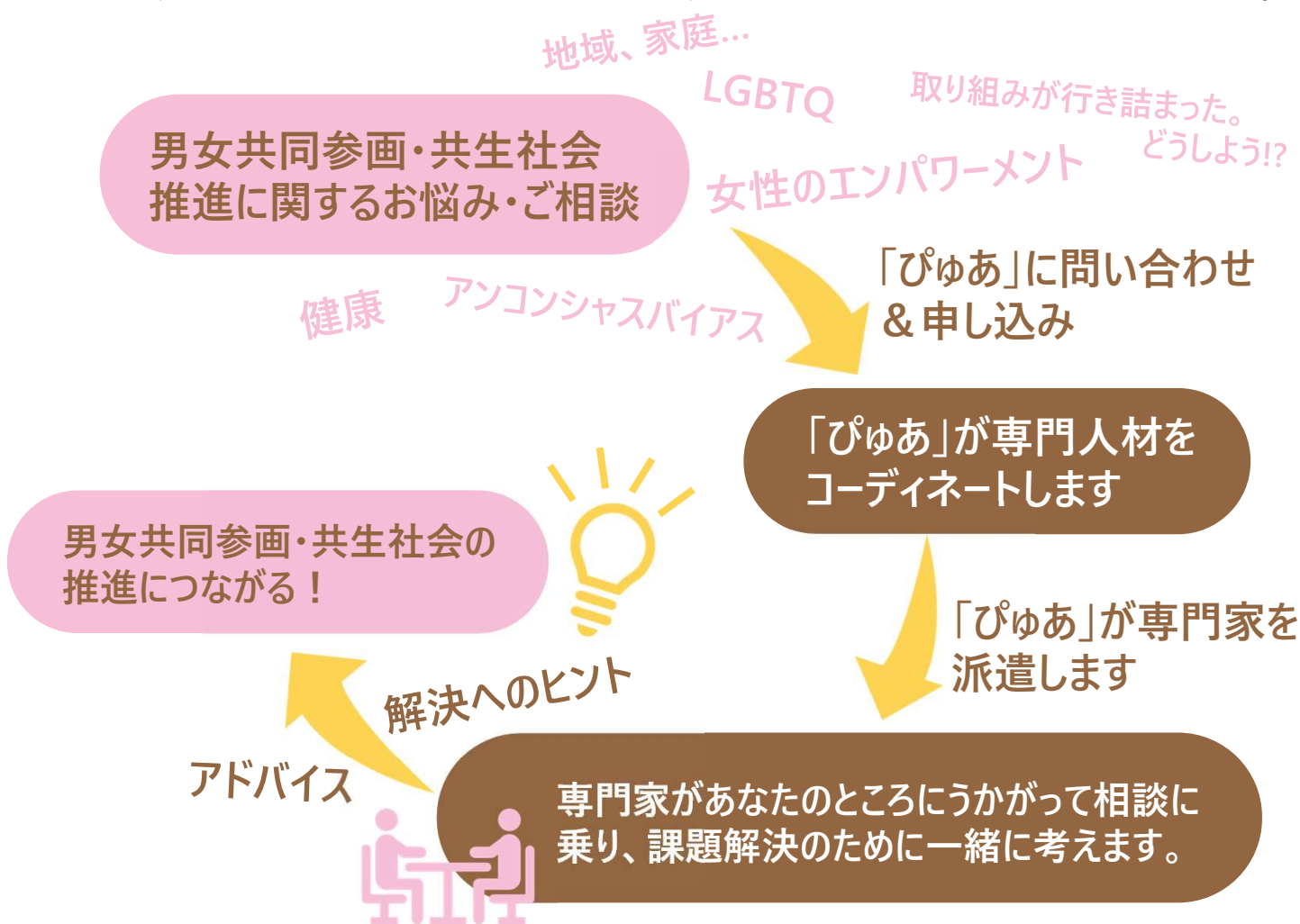
令和6年度

自治会役員に女性を増やしたいが、どうしていいのかわからない。

DVを若い人たちにもっと知ってもらいたいのにどうしていいかわからない。

・・・こんな「男女共同参画のお悩み」はありませんか？

県では、団体や地域の相談に専門家に対応し、男女共同参画の取組みを支援しています。



Q：費用の負担はありますか？

A：講師の謝金や旅費の負担はありません。

Q：どんな相談でもいいんですか？

A：男女共同参画に関して幅広く助言できる人材がご対応します。裏面をご確認ください。

Q：活用事例をおしえてください。

A：女性の権利について学びたい！ 新しい法律について知りたい！

ジェンダー教育のためにできること、まちの活性化のためにできることはなにか？

自分たちの取り組みへの助言がほしい！ などです。 （これまでの実績から）

多様な専門人材！

(五十音順)

ジェンダー平等

池田 政子 さん 山梨県立大学 名誉教授



専門は心理学・ジェンダー研究。東京教育大学（現・筑波大学）大学院博士課程単位取得退学。1976年山梨県立女子短期大学着任、県立大学人間形成学科教授、地域研究交流センター長。大学が県教委、県立男女共同参画推進センターと連携した「男女共同参画アドバイザー養成講座」を7年間企画・運営。共著『0歳からのジェンダー・フリー』『未来につながる男女共同参画』『ジェンダーの発達心理学』など。県男女共同参画審議会委員、県子ども・子育て会議委員、県社会福祉審議会委員など歴任。

女性リーダー

加藤 敦子 さん 都留文科大学 学長



主な専門分野は歌舞伎・浄瑠璃を中心とした日本近世文学。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。ソウル女子大学校講師、東京経済大学特任講師を経て、2013年都留文科大学に着任。国文学科長、語学教育センター長、附属図書館長、副学長を歴任し、2023年4月より現職。共編著に『高畑勲をよむ 文学とアニメーションの過去・現在・未来』（三弥井書店、2020年）。

地域住民による課題解決

栗田 真司 さん 山梨大学大学院 教授



岐阜県生まれ。筑波大学教員、放送大学客員教員を経て山梨大学大学院教授、山梨県内の10大学の連合事業体である大学コンソーシアムやまなしの事業部長を務める。国の評価規準・評価方法等の研究開発に関する検討委員会主査、全国のかつ総合的な学力調査の実施に係る検討委員会主査、県の地域教育力・体験活動推進協議会会長、キャンパスネットやまなし企画運営委員会委員長などを歴任。最近の論文には、地域振興政策や生涯学習に関する「アソシエーションによる地域課題解決」、「生涯学習としての地域課題解決」などがある。

地域福祉の視点による地域連携

高木 寛之 さん 山梨県立大学 教授



専門領域／地域福祉、福祉教育、ボランティア提供できる地域貢献メニュー
・福祉教育
・ボランティア活動
・地域住民とのまちづくり実践 ほか

地域福祉、社会福祉実践との接点でご関心がある方はご相談ください

LGBTQ

富永 貴公 さん 都留文科大学 准教授



大学院修了後、兵庫県明石市の高齢者大学校・コーディネータ、東京都調布市の男女共同参画推進センター・学習指導員を経て、現職。専門分野は、社会教育学・生涯学習論、ジェンダー・セクシュアリティ研究。

女性のエンパワーメント

広岡 守穂 さん 中央大学 名誉教授



おもな専攻は日本政治思想史だが、現代日本の社会現象に幅広い関心を持ち、男女共同参画、NPO、子育てなどさまざまな分野で発言している。NPO支援と女性の人材育成に長くかかわってきており、地域のNPO事情や自治体の男女共同参画政策にくわしい。NPO推進ネット理事長、佐賀県立女性センター・アバンセ館長など歴任。1990年『男だって子育て』でベストメン賞受賞。詩や作詞も手がけている。おもな著書は、『「豊かさ」のパラドックス』（講談社現代新書、1986年）、『ジェンダーと自己実現』（有信堂、2015年）

DV・性の健康

伏見 正江 さん 山梨県立大学名誉教授 助産師
リプロヘルスコーディネーター
やまなし女性ヘルスエンパワメントネット代表



専門の分野：リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）。大学では全国に先駆け科目『性のヘルスプロモーション』開講。ヘルスプロモーションクラブ顧問として学生と共に地域で「自分のからだの主人公になろう！」講座を展開しソトパワーを醸成。第4回世界女性会議（北京）参加。ニューヨーク「国連特別総会・女性2000年会議」NGOワークショップでは「包括的性教育の実践効果」を発表。国際協力（カンボジア・東ティモール等）性の健康教育支援。

豪立マッコリー大学修士課程修了。甲府市男女共同参画審議会委員、山梨県男女共同参画推進センター運営協議会委員、山梨県母子保健評価委員、山梨県女性相談所専門委員、山梨県困難な問題を抱える女性への支援計画検討会座長など歴任。著書に『助産婦地球儀』。編著『未来につながる男女共同参画』など多数。

<お問い合わせ>

山梨県立男女共同参画推進センター
古屋万恵

☎ 055-226-0826

E-mail:
furuya-rkb@pref.yamanashi.lg.jp